



平成24年1月11日

会社名 日本サード・パーティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 和昭
(JASDAQコード番号:2488)
問合せ先 取締役事業戦略室担当 佐伯 康雄
(電話 03-6408-2488)

**『放射能プレミアムドック』センター開設
(被ばく/食品放射性物質汚染検査、検査従事者教育、ガイガー・サービス)
に関する取材案内(第2報)**

平成23年12月28日付で『放射能プレミアムドック』センター開設(被ばく/食品放射性物質汚染検査、検査従事者教育、ガイガー・サービス)に関する取材案内についてお知らせいたしましたが、この度、放射能プレミアムドック料金が確定いたしましたので、前回発表記事と併せてお知らせいたします。

以上

2012.1.16.オープン！ 放射能プレミアムドック

放射能時代の「身体」と「食品」の安心安全検査サービスをぜひ、体感してください。



内部被ばく検査



甲状腺被ばく検査



生涯の身体に対する被ばく量を定期的に健診して、データベースで管理

ガイガーカウンターでは、日々の生活の中でどのくらいの空間線量の中で生活をしているかをリアルタイムに、また、積算量を可視化してどの程度の被ばくをしているかを目安として記録、確認できます。しかしながら、大切なのは実際に身体にどの程度放射線が沈着したかの内部被ばくや甲状腺被ばく検査を受け、長期間にわたって個人別の被ばく量を掌握することが、不可欠です。

体内に入った放射性物質は、化学的性質により、体内の特定の組織に結合することがあり、局所的に被曝量が大きくなります。代表例は、放射性のヨウ素131が甲状腺に取り込まれることです。いずれも、微量な放射性物質を長期間にわたって体内取込み、蓄積しされていくことが問題です。

被ばく検査で異常が認められた場合は、専門医での診察にデータを利用いただけます。検査データは、カルテ上に履歴が残り、放射能ドック検査結果データとして蓄積されます。記録を含めデータを一元管理することにより、総合的・継続的な健康管理のお役に立て頂けます。

東京都心での充実した放射能ドックです。当検査センターを是非とも健康管理にお役立てください。

食品汚染検査

供給者から消費者まで自主検査が日本の食卓を守ります。



牛乳、食物、食材、土、建築資材、産業の未処理の物質および他の環境のガンマ線放射性核種の量と特性を測定することができます。

放射能プレミアムドック料金表

放射能プレミアムドックメニュー	JTPガイガーカウンター & サービス 会員特別価格	オープニングキャンペーン (2月末まで)	一般検査料金
内部被ばく検査	¥6,300	¥9,500	¥12,600
甲状腺被ばく検査	¥6,300	¥9,500	¥12,600
バリューセット (内部/甲状腺)	¥10,500	¥14,000	¥23,100
食品汚染検査	¥1,050	¥1,575	¥3,000



取材案内

会社名 日本サード・パーティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 和昭
(JASDAQコード番号:2488)
問合せ先 取締役事業戦略室担当 佐伯 康雄
(電話 03-6408-2488)

『放射能プレミアムドック』センター開設

(被ばく/食品放射性物質汚染検査、検査従事者教育、ガイガー・サービス) に関する取材案内

日本サード・パーティ株式会社は、(本社:東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー)にて平成24年1月16日(月):『放射能プレミアムドック』センターを開設します。本センターでは、福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による「少量/長期的な被ばく」に対する「内部被ばく」「甲状腺被ばく」「食品放射性物質汚染」に関する検査サービス並びに、検査従事者育成教育サービス等を実施します。センター開設に当たっては、ベラルーシ共和国政府、在日ベラルーシ大使館の協力・支援を得て、「国民が安心して生活を送れる環境の提供」と、被ばく検査データの蓄積に基づく国際的な医療・分析機関等とのデータ連携による「被ばく医療の知見確立」の一助になることを目的として開設し、本センターの『開所式と各被ばく検査・食品汚染検査のデモンストレーション』を、在日ベラルーシ大使館:セルゲイ・ラハマノフ大使をお招きし、次の通り執り行います。

『放射能プレミアムドック』の提供サービス内容

- 椅子型ホールボディカウンターによる『内部被ばく検査』
- 甲状腺モニターによる『甲状腺被ばく検査』
- 食品スクリーニングモニターによる『食品放射性物質汚染検査』
- 検査従事者向け、トレーニングセンターでの『ハンズオン(実機を使用した実習)教育』
- 「ベビーガイガー・サービス」「トラベルガイガー・サービス」の各放射線対策サービス受付・手続き

現在、内部被ばく検査に関しては、放射線業務従事者の労災対応を目的として、緊急被ばく医療機関を中心に、ホールボディカウンターが設置されていますが、一般検査として個人が検査を受けられない状況です。そのため、生涯被ばく量のガイドラインが出たとしても一般の方が、検査を受け被ばく状態を知るすべもなく、少量/長期間の被ばくの人体への影響についての因果関係などの研究・知見確立に活かすこともできない状況です。これらの課題解決として、チェルノブイリ原発事故の被爆国であるベラルーシ共和国の経験と国民に対する検査体制をベラルーシ共和国政府、在日ベラルーシ大使館の協力・支援のもと、民間主導で確立いたしました。本サービスは、ベラルーシ共和国のアトムテックス社製、ポリマスター社製の検査機器、ガイガーカウンターを導入、技術協力体制を構築し提供します。

【ブリーフィング】

日時:平成24年1月16日(月)10:30~11:00(報道受付:本社14階(品川) 10:00~)

【開所式と各被ばく検査・食品汚染検査のデモンストレーション】

日時:平成24年1月16日(月) 11:00~12:00

【出席者】:在日ベラルーシ大使館 大使 セルゲイ・ラハマノフ氏
アトムテックス社 社長 ヴアレリ・コゼミヤキン氏

e-mail webmaster@jtp.co.jp

取材申請書

『放射能プレミアムドック』センター開設に関する取材
(被ばく/食品放射性物質汚染検査、検査従事者教育、ガイガー・サービス)

【ブリーフィング】

日時 :平成 24 年 1 月 16 日(月) 10:30~11:00
(報道受付/本社14階 :10:00~)

【開所式と各被ばく検査・食品汚染検査のデモンストレーション】

日時 :平成 24 年 1 月 16 日(月) 11:00~12:00

【出席者】

在日ベラルーシ大使館 大使 セルゲイ・ラハマノフ氏
アトムテックス社 社長 ヴアレリ・コゼミヤキン氏

貴社名	
ご住所	
電話番号	
当日連絡先番号	
当日取材者名	(所属)
(所属)	(所属)
	(所属)
備考	

お問い合わせ先

日本サード・パーティ株式会社 事業戦略本部 担当:佐伯
〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー14 階(受付)
TEL.03-6408-2488(代表) FAX.03-6859-4797 (当日:090-3318-7918)